(高等学校の例)

公民科 (〇〇) 学習指導案【新課程版】

指導者 〇〇 〇〇

- 1 履修単位数 〇単位
- 2 実施日時 令和〇年〇〇月〇〇日 () 第〇時限
- 3 学 級 〇年〇組または〇〇〇ホームルーム (〇〇名)
- 4 使用教科書 『〇〇〇〇〇〇〇〇』 (出版社名)
- 5 単元(題材)名 〇〇〇〇〇〇〇〇 ※中単元(6～8時間程度)

6 単元(題材)設定の理由

<生徒観>

公民科への取り組み方(興味・関心・態度など)、生徒が今現在できていること、今は足りていない技能・見方・考え方など(今回身に付けさせたいこと)。

<教材観>

単元全体の概要、教材の特性(この単元で何をどのように扱うことができるか、それにより、どのような知識・技能、見方・考え方等を身に付けさせることができる単元か)。

<指導観>

生徒観や教材観を踏まえた上での指導のポイントや工夫(単元をどのような方策で行うことで何を身に付けさせたいか、どのようなことが見込めるか)。

7 単元(題材)の目標

学習指導要領の目標・内容を基にして設定する。目標の重点化・焦点化を図る。

※生徒主体の行動目標で書く。「～することができる」などの文末表現にする。

単元を貫く問い (単元の基軸となる問い)	※単元全体を貫く(主に思考・判断・表現に関する)もの ※学習の「見通し」と「振り返り」 ※どのように考察、構想(探究)させるのか
--------------------------------	--

8 単元(題材)の評価規準 ※単元全体の評価規準であること

単元の目標を生徒がどの程度実現しているかを判断するための拠り所となる。

知識・技能(知)	思考・判断・表現(思)	主体的に学習に取り組む態度(態)
～の知識を身に付けている。 ～について理解を深めている。 ～を読み取っている。 など	～について適切に表現できている。 ～を多面的・多角的に考察している。 ～について構想している。 など	～への見通しを立てている。 ～に主体的に取り組んでいる。 ～の意義を見いだしている。 など

9 指導計画 単元名〇〇〇〇 全〇時間 ※単元全体の中で3つの観点を入れる

第一次 〇〇〇〇・・・2時間

第1時 〇〇〇〇・・・【●態】

第2時 〇〇〇〇・・・【●思】(本時 〇/〇)

第二次 〇〇〇〇・・・2時間【●知、●思】

第三次 〇〇〇〇・・・2時間【○知、○思、○態】

(○…「評定に用いる評価」、●…「学習改善につなげる評価」)

(高等学校の例)

単元の指導計画

※指導計画は、単元など内容や時間のまとまりを見通して作成する。

※目標を達成するために学習内容の区分を指導の順序に配列し、それぞれに指導予定時数を配当し、単元全体の流れが一目で分かるようにする。

※必要に応じて、専門家・関係諸機関との連携・協働の場面を設定する。

時程	学習活動	評価の観点			評価規準等
		知	思	態	
第一次 2時間 ★本時 1/2	<p>【単元を貫く問い】(例) 私たちは、公共的な空間をどのように作っていけばよいのだろうか。</p> <p>【第一次の問い】(例) 社会に参画する自立した主体とはどのようなものだろうか。</p>				<p>(評価資料) :</p> <p>(態度)</p> <p>※単元の始めに学習の見通しを立てさせる</p> <p>(思考・判断・表現)</p>
	<p>1時間での評価基準数は、1～2とする</p>		●	●	
第二次 2時間	<p>【第二次の問い】(例) 社会に参画し、他者と協働する倫理的主体として個人が判断する手掛かりとなる考え方にはどのようなものがあるだろうか。</p> <p>ワークシート、授業支援アプリ、発表など</p>				<p>(評価資料) :</p> <p>(知識・技能)</p> <p>(思考・判断・表現)</p>
		●	●		
第三次 2時間	<p>【第三次の問い】(例) 公共的な空間を作る上で、どのような基本原理が必要だろうか。</p> <p>思考・判断・表現、態度の評価は、 学習改善につなげる評価● →学習改善につなげる評価● →評定に用いる評価○ の順を基本とする</p>				<p>(評価資料) :</p> <p>(知識・技能)</p> <p>(思考・判断・表現)</p> <p>(態度)</p> <p>※単元の始めに立てた見通しを踏まえて、振り返りをさせる</p>
		○	○	○	

(高等学校の例)

10 本時の指導目標

※本時の学習活動で目標としていることを単元の評価基準に照らして具体的に書く。

11 本時の展開

※生徒の学習活動がメインとなるように書く。

※9の単元の指導計画をもとに、学習活動や評価基準等を書く。

時間	学習活動	指導上の留意点	学習活動における 具体的評価規準	評価方法
導入 ○分	【単元を貫く問い】(例) 私たちは、公共的な空間をどのように作っていけばよいのだろうか。			
	<ul style="list-style-type: none"> 指導過程に沿って、生徒の活動を書く。 生徒の立場で書く。(例) ~する。 	<ul style="list-style-type: none"> 目的を達成させるための手立てを書く。 教師の立場で書く。 		1人1台端末を活用した場面を 太枠 で囲む
展開 ○分	【本時の問い】(例) 社会に参画する自立した主体とはどのようなものだろうか。			
			<ul style="list-style-type: none"> 「おおむね満足できる(B)」と判断される生徒の状況を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート、授業支援アプリケーション、発表などの評価資料、評価方法を書く。
展開 ○分				
まとめ ○分				

本時の展開で設定した評価の観点

12 評価の目安と目標実現のための手立て

A	十分満足できる	Aと評価する生徒の姿を書く。Bから更なる質的な高まりや深まりを持つと判断される多様な姿が想定され、限定的に書かない。
B	おおむね満足できる	Bと評価する生徒の具体的な姿を書く。本時の目標を踏まえて、付けたい資質・能力が付いた生徒の姿を想定する。本時の展開における評価規準と同じでもよい。
C	Bを満たさない生徒への具体的な手立て	Cと評価される生徒のつまづきを予想して、「おおむね満足できる」状況を実現するための具体的な指導・支援策を示す。

(高等学校の例)

次の各教科等の資料を確認してください。

- 「学習指導要領」及び「学習指導要領解説」の公民編 文部科学省
- 「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 国立教育政策研究所
<https://www.nier.go.jp/kaihatsu/shidousiryoku.html>
- 「読解力の育成を目指した指導事例集－高等学校編－」 徳島県立総合教育センター
http://www.tokushima-ec.ed.jp/education_document/scholastic_ability/comprehension/dokkairyoku.pdf
- 「学習意欲を高めるための授業改善例－高等学校編－」 徳島県立総合教育センター
http://www.tokushimaec.ed.jp/education_document/scholastic_ability/gakushu_iyoku_kou/gakushuiyoku_kou.pdf